

2国内情報

「堆肥センターの良質堆肥生産と耕畜連携による堆肥利用の推進体制事例」

鹿児島県農政部経営技術課 農業環境対策室畜産技師 新牛込純治

1. はじめに

末吉町は、鹿児島県大隅半島の北東部、曾於郡の北東端に位置し、宮崎県の都城市に接している。総面積の約51%が山林で、耕地面積は約32%を占めている。農業の概況は、農家戸数2,804戸のうち、専業農家が876戸(2000年世界農林業センサス)、耕地面積3,870haのうち畑面積が2,670haで約7割が畑作である。また畜産は養鶏2,574千羽、肉用牛17,500頭、養豚41,700頭と盛んで(農水省畜産基本・予察調査及び食鳥流通統計調査<14年2月1日現在>)、町の農業粗生産額の約7割は畜産で占められている。(表1)

表1 平成13年末吉町農業粗生産額

農畜産物粗生産額合計		1,374	千円
耕種計	373 千円	畜産計	1,000 千円
米	83 千円	肉用牛	287 千円
麦類	1 千円	乳用牛	15 千円
雑穀	1 千円	うち生乳	13 千円
豆類	1 千円	豚	189 千円
いも類	53 千円	鶏	505 千円
野菜	120 千円	うち鶏卵	309 千円
果実	6 千円	うちブロイラー	163 千円
花き	16 千円		
工芸農作物	92 千円	その他畜産物	4 千円
種苗・苗木類・その他	0 千円	加工農産物	1 千円

2. 堆肥センター設置の経緯及び状況

当該地域では「日本一うまい和牛と黒豚の里」をスローガンに畜産振興に力を入れる一方、「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」の施行以前から家畜ふん尿対策については大きな課題として検討を進め、平成9?11年に総事業費約16億円をかけ、その拠点となる「町有機センター」を整備した。(写真1)

進を図る一方、町経済課内に有機農業推進室を設けるとともに、平成13年には町内の堆肥利用農家等で構成する町有機堆肥利用推進連絡協議会を設置し、堆肥施用効果の実証展示や実績のPR、研修会の開催など積極的な取り組みを実施している。

さらに平成13年5月1日からは、有機推進室に堆肥販売推進員を設置し、堆肥の流通・販売促進にも努めている。(図1)

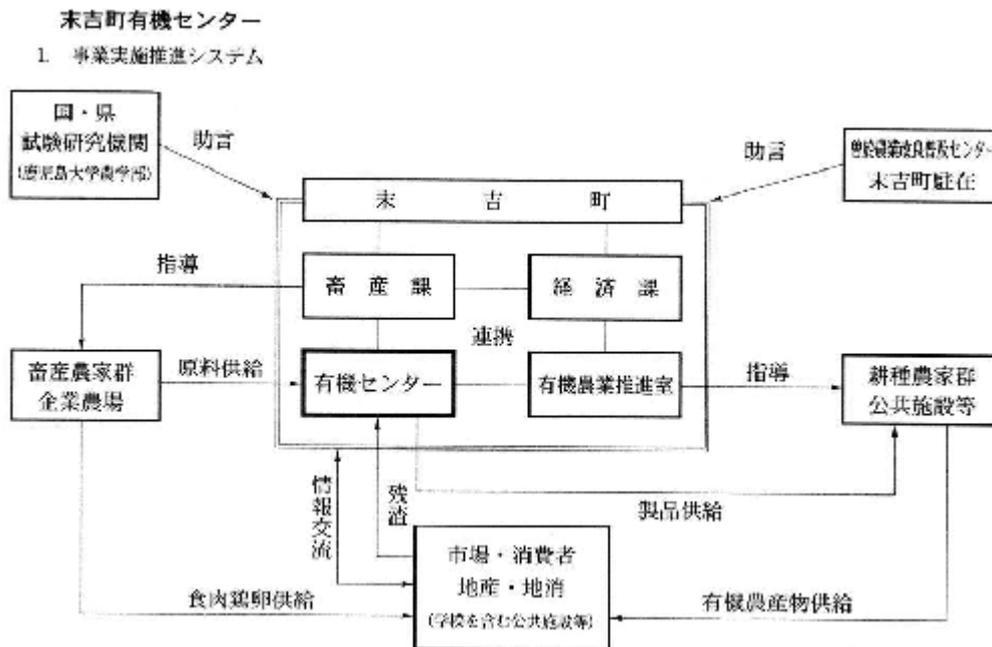


図1 末吉町有機堆肥利用推進体制

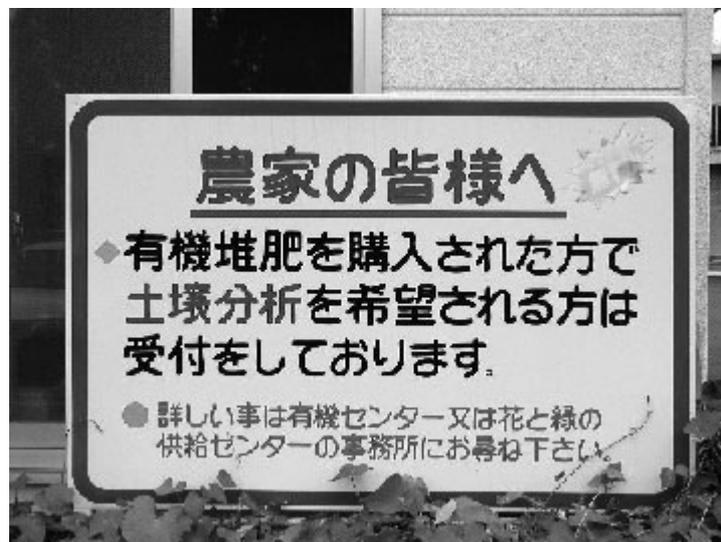


写真3 原料計量所前の看板

【堆肥利用推進・流通等に対する主な取り組み】

- ・ 耕種農家への堆肥利用促進PR資料の作成
- ・ 町の重点品目等における実証ほの設置および堆肥 施用基準の作成
- ・ 堆肥施用による飼料作物の硝酸態窒素濃度調査
- ・ 「畜産と有機農業振興大会」の開催
- ・ 園芸振興会等会員への堆肥購入助成事業

- ・一般家庭の生ゴミ処理に係る「森の華」利用推進
- ・県堆肥コンクールへの出品 等

4. 成果

町ぐるみの取り組みにより、堆肥の出荷実績は年々増加し、初年度の平成11年度と比較して、平成13年度では約5倍の売上となっている。また平成14年度は県良質堆肥生産利用推進協議会の主催する堆肥コンクールにおいて優秀賞に当たる「会長賞」を受賞したことにより、さらに需要が拡大し、堆肥販売量もさらに増加した。

このほか、当初町内循環を前提に堆肥利用推進を展開していたが、最近では町外からの注文も多く、全体販売量の約20%を占めるようになってきており、15年度は現段階でさらに増加している。(図2)

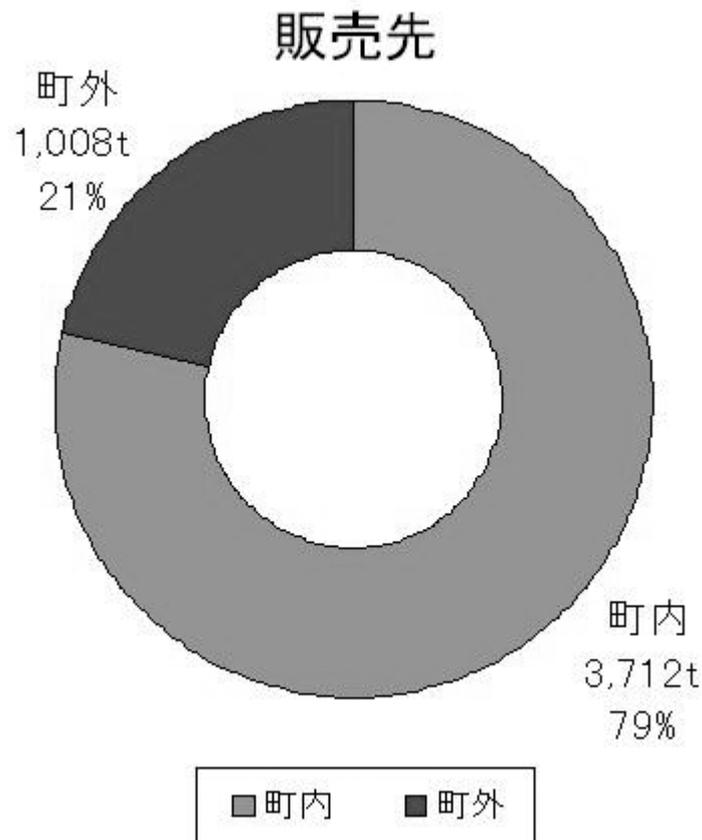


図2 平成14年度販売先内訳

5. 今後の課題

平成14年度の月ごとの販売量をみると、4～6月までの需要が低く、1?3月が高い傾向にある。

このように堆肥生産は年間を通じて行われているが、堆肥販売には作物や作型などにより時期が偏る傾向があることから、製品保管のためのストックヤードが不足している。

また、年間の販売量の内訳を見ると散布作業までセットにした販売が全体の4割を占めており、年々増加傾向にある。

このため、新たに製品棟、散布車、2tダンプ、ショベルローダー等を導入する計画であり、ハード面を進めている。

6. おわりに

有機センターの設立当初は、発酵行程が不安定であったり、堆肥の需要が少ない等様々な問題点を抱えていたが、有機センターをはじめ、関係機関及び生産者集団が一体となり、生産利用の両面にわたって努力してきた結果、その成果が着実に形となって現れてきており、今後さらに有機センターを核にして堆肥の施用による土づくりを基本にした環境への負荷軽減による地域農業振興が図られることを期待している。
最後に、今回の事例情報収集に当たって、御協力いただいた末吉町有機センターの清田所長に感謝申し上げます。



写真4 熟成棟の堆肥

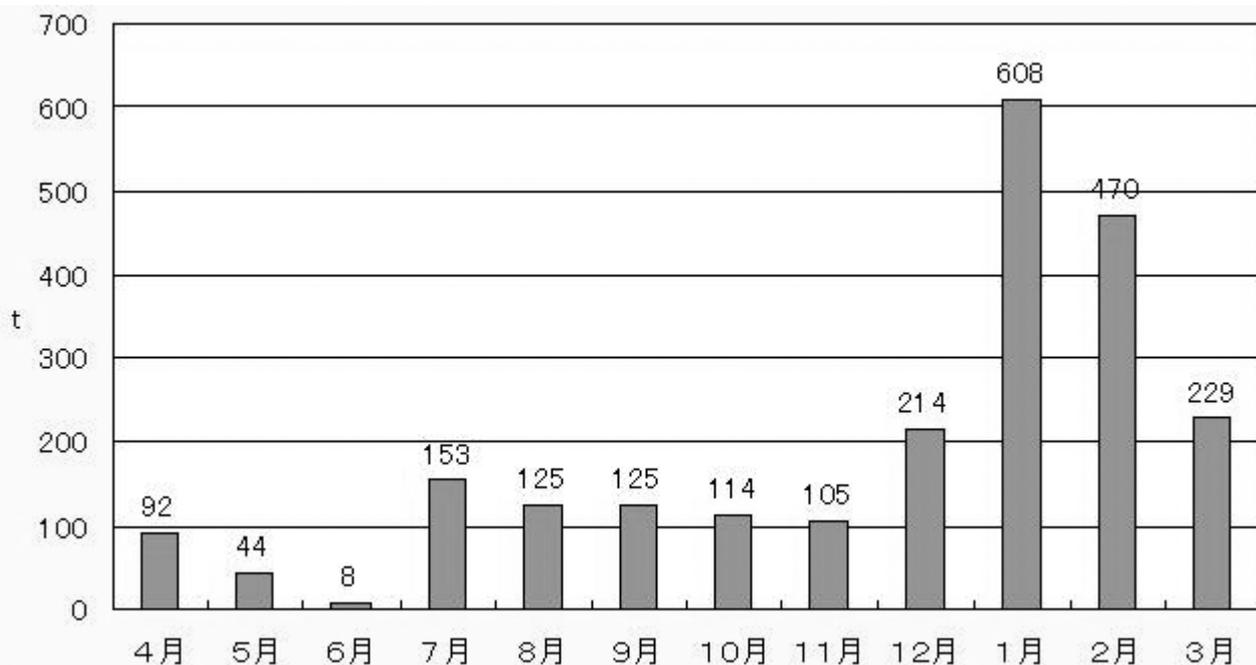


図3 平成14年度月別販売数量

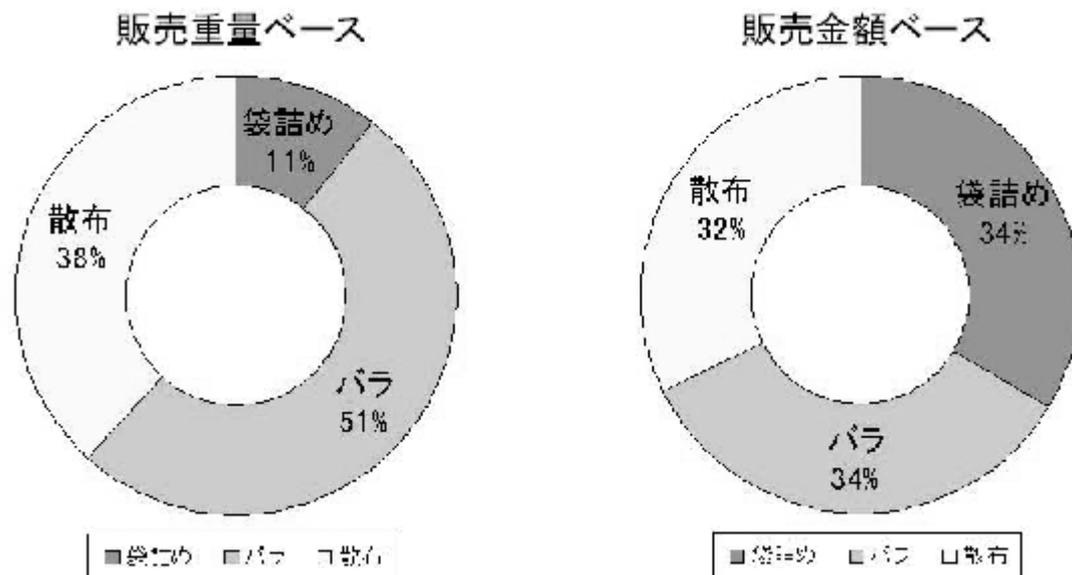


図4 平成14年度販売実績の内訳

末吉町有機センターの運営

職員: 所長1名、事務職1名、事務補助1名、現場作業員7名 計10名
 平成14年度販売実績: 4,720t 33,008,722円

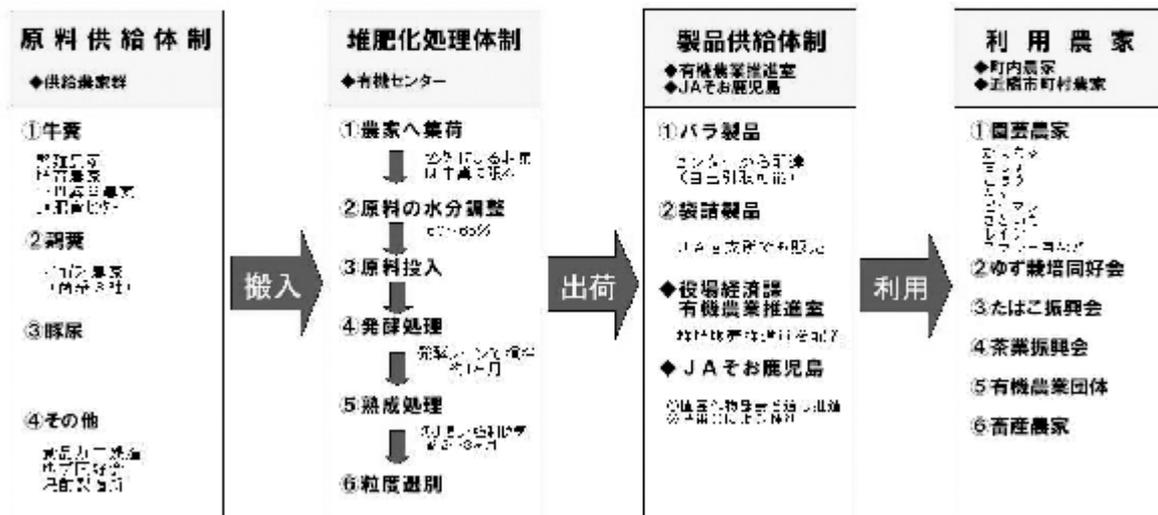


図5 有機センター運営体系